

アナフィラキシーショック で入院された方へ

患者番号:

患者氏名:

様

	1日目	2日目
日付	息苦しい感じやのどに違和感があるときはすぐにお知らせください。	
目標	呼吸・血圧・脈などが落ち着く 吐き気などの消化器症状が軽減する 蕁麻疹・かゆみが軽減する 治療方針が理解できる 転倒・転落がない	退院後の注意点・対処が理解できる 
内服	普段飲んでいる薬があれば看護師にみせてください。 継続・中止について説明があります。 	必要に応じて内服があります。
注射	点滴があります。	
検査	4時間毎に検温があります。 	4時間毎に検温があります。
処置	必要に応じて酸素投与をします。	
食事	 絶食です	状態にあわせて食事を再開します。
安静	ベッド上安静です。 (状態によりトイレのみ歩行していただきます。)	
排泄	状態によりトイレに行ってください。看護師にお知らせください。 尿量を測る場合は看護師からお伝えします。 ふらつく場合にはベッド上で尿器・便器を使いましょう。	
清潔	洗面のお手伝いをします。	蒸しタオルで体を拭くことができます。 希望される方は看護師にお知らせください。
説明	<ul style="list-style-type: none"> 看護師より入院生活について説明があります。 入院時の書類にサインをして提出してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院、入院継続について説明があります。 皮膚科を受診して頂くことがあります。 必要な方にはエピペンの使用方法について説明があります。

※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかないこともありますので、ご了承ください。

福井県立病院 総合内科 2016年9月改訂